



三珠中学校  
学校便り

# 礎

## ishizue

令和5年11月7日  
文：校長 丹沢伸也

### 実りの秋、学びの秋

#### 様々な学習活動を実施

実りの秋、と言われる季節です。学校でも様々な学習活動が行われ、豊かな学びができたと感じています。そんな学習活動の様子を紹介したいと思います。

### 3学年 思春期体験学習

#### 命の尊さについて考えました



奇跡についての講義を聞いた後、赤ちゃん人形抱っこ体験、妊婦体験等を通して、赤ちゃんとのふれあい方や、妊婦さんの大変さを学習しました。生徒たちは、赤ちゃん人形を抱っこすると、自然と表情も柔らかく笑顔になりました。また妊婦体験では想像していた以上に身動きを取ることが大変なことを体験しました。

事後に行ったアンケートでは「赤ちゃんは意外とずっしりとしていて、頭が特に重かった。赤ちゃんを抱っこする時には、赤ちゃんに声をかけながら接したいと思った」

10月13日、3年生の総合的な学習で思春期体験学習を行いました。町の子育て支援課の保健師さんと助産師さん、峡南教育事務所からは地域教育支援担当の先生が来校し、ご協力いただきました。事前学習として、自分が生まれた頃の思い出のアルバムや、一人ひとりの名前に込められた思いなどを、家の人にインタビューをしたり、DVD「二百五十兆分の一の奇跡」を鑑賞したりして生命の誕生について学習しました。当日は、助産師の方より、市川三郷町の子どもの様子や命の始まりから生命の誕生の



### 2学年 職場体験学習

#### 「みさと学」から町内で実施



「(人形ではあったけど)名前をつけたら愛着がわいた。本物の赤ちゃんは泣いたり暴れたりすると思うので大変なことだと感じた」という言葉や「(妊婦体験では)とても重くて動きづらくて妊婦さんは大変なんだと改めて感じた。お母さんが頑張ってくれたおかげで今の私がいるんだな」と思っ

た。もし周りで妊婦さんを見つけたら自分にできることを率先してやり、「少しでも役に立ちたい」「今日の体験学習を将来に役立たせたい。少し大人になることが楽しみになった」というような言葉が見られ、学びの多い体験になりました。

2学年は10月24日と25日の2日間職場体験を実施しました。キャリア学習の一環としての職場体験学習ですが、今年度から町のふるさとキャリア教育「みさと学(ふるさとを知り、ふるさとから学び、自己の生き方を見つめる)」の学習の一環としたことから、主に町内の事業所や公共施設に協力依頼をして実施しました。



24日は、町内外の事業所11カ所、25日は町の公共施設を中心として9カ所で体験を行いました。実施にあたっては、地域コーディネーターに間に合ってもらい、市川三郷町の4つの中学校で、町の商工会や町に協力をお願いしました。どちらも趣旨を理解頂き、積極的に協力していただけることになり、多くの場



所で体験を実施できました。改めて、商工会の皆様、事業所の皆様、町当局の皆様感謝申し上げます。

この職場体験の目的ですが、これまでは「興味がある職種について知り、学ぶ」としていましたが、今年度からは「働くということはどういうことかを知る」ことに重きを置き、様々な職場で体験をして話を聞いたり、できる範囲で体験させたりしてもらいながら、働くことがどんなことなのか考える機会としました。これをきっかけに、生徒が少しでも、働くことについて学びを深めると同時に、体験ができた市川三郷町について知ったり愛着をもち、やがては地域を支える人材になってくれればうれしいと思います。

11月2日(木)、1学年の生徒が総合的な学習の福祉学習の一環として、近くにあるナーシングプラザ三珠を訪れました。この訪問活動は三

珠中学校で長く続いていますが、コロナ禍のため昨年度までは実施できず、4年ぶりの訪問となりました。とはいえ、まだ感染症に留意する必要があります。屋外で30分程度の交流となりました。生徒は、多くのお年寄りの方の前で「もみじ」、「ふるさと」の2曲の唱歌を歌い、その後は希珠祭で取り組んだスタンツを披露しました。

参加した方々は、歌やダンスに合わせて口ずさんだり、手を叩いたりするなど、一緒に楽しんでくれたようでした。また、ナーシングの皆さま



## 吉原あさひさんを招いて教育講演会開催

11月11日(水)、オープンスクールに合わせPTA教育講演会を実施しました。全校生徒・保護者・教職員が参加し、講師に、本校の卒業生で現在大学に通いながら「ぼくまち市川三郷」を主宰している吉原あさひさんを招いて講演会を実施しました。講演のテーマは「地域」を使う人になろう!」で、吉原さんが、どのように地域おこしに携わってきたかについて、また、地域に生徒達がどのように関わっていきことができるのかを中心に話をしていたいただきました。講演の後半では、市川三郷町の課題を解決するためのアイデアを生徒一人一人が考える場面を設け、「解決したい課題

決に向けて(市川三郷町で)活かせられるのは...」内容は...」市川三郷町がどうなる...」という手順を考え、その後、グループに分かれてタフレットを使ってまとめ、その内容を発表し



とで宣伝して人を集める」、「センターを使用しているんな球技に触れながら地域の人と交流を深める」、「市川三郷町の観光施設を話の中に登場させ、自分達で町を舞台にアニメを作る」、「電話やSNSで依頼を受けて、私たち若者が配達員となり、市川三郷町内の食品や商品を届ける」など、どれもユニークなもので、吉原さんからも「良いアイデアだね!」など感想をいただきました。参加した保護者や地域の方々からは、「大変すばらしい講演だった」、「生徒が地域のことを学んだり考えたりするととても貴重な機会だった」と、とても好評でした。本校の卒業生が立派に活躍していることを嬉しく思うと共に、三珠中の生徒達も、吉原さんのように、地域を愛し、育て、地域を担うような人になってほしいと思います。

### 1学年 ナーシング訪問

#### 芝生広場で4年ぶりの交流



珠中学校で長く続いていますが、コロナ禍のため昨年度までは実施できず、4年ぶりの訪問となりました。とはいえ、まだ感染症に留意する必要があります。屋外で30分程度の交流となりました。生徒は、多くのお年寄りの方の前で「もみじ」、「ふるさと」の2曲の唱歌を歌い、その後は希珠祭で取り組んだスタンツを披露しました。

参加した方々は、歌やダンスに合わせて口ずさんだり、手を叩いたりするなど、一緒に楽しんでくれたようでした。また、ナーシングの皆さま